

# 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取緑風高等学校

重点項目	特別支援教育重点校	提出日	平成30年1月30日
------	-----------	-----	------------

1 学校目標
(1) 基本的生活習慣の確立による、生徒の自己管理能力の育成 (2) 夢と希望を持ち、世界を広げていくことのできる生徒の育成 (3) 社会のルールやマナーを遵守する生徒の育成 (4) 基礎・基本の重視による、生徒一人一人の学力の向上 (5) 生徒が将来の生き方を意識する進路指導の充実 (6) 自律性を伴った、生徒の自主性の育成 (7) 自然環境について考え、行動することのできる生徒の育成
2 重点項目に係る目標
『個々の生徒の課題に向き合い、自立と成長を促す指導の充実』 近年、支援が必要な生徒の割合が年々増加傾向にあり、基本的生活習慣の確立や基礎的学力の育成等、本校の様々な取組において特別支援教育の視点から計画・実施する必要性が増大してきている。そのため、校内の職員研修や校外の研修会への参加及び自己研修を通して学んだことを日々の授業や生活指導で実践している。その取組の成果は、年間2回の生徒アンケート調査等により実態把握に努めている。 <数値目標> 現状では60%～80%で推移している満足度にかかる生徒アンケート項目全てが、8割を超える ※生徒アンケート項目 「多くの授業は工夫されていて、分かりやすい。」「多くの授業は、内容が充実しており、満足できる。」「授業に興味を持てる。」「先生は、質問や相談に丁寧に対応してくれる。」「昨年より学習意欲が向上した。」等
3 事業計画（事業名、事業概要）
【高等学校課事業】 ・高校における特別支援教育充実事業 講演会や研修会に参加することで、特別支援教育に関する理解を深めるとともに、効果的な指導法を考え実践する。 (1) 県外講師による校内職員研修会 組織的学習支援・キャリア支援の在り方等について職員研修を行う。 (2) 発達障がいや通級指導等について理解を深める県外の研修会参加 全国的な学界等に参加し、理解を深め実践するとともに最新の情報を得てそれを職員と共有する。

(3) 基礎学力定着や社会的スキル定着のための指導・支援や通級指導に類する実践についての先進校訪問、研修

県外で実施される合理的配慮等に関する研修会に参加し、理解を深め実践するとともに、その知識を職員と共有する。

・アクティブ・ラーニング推進事業

講演会や研修会に参加することで、生徒にとって分かりやすい指導について知識を深め、生徒の学習に取り組む基本的姿勢を育み、また主体性を引き出すアクティブ・ラーニングを取り入れた指導法を考え実践することで生徒の達成感や自己肯定感を養う。

(1) 県外講師による校内職員研修会

大学教員による講演により最新の情報や理論を得たり、異校種の現職教員による講演や実践報告等を通してアクティブ・ラーニングに関して理解を深め、実践する。

(2) 県外の先進的取組の視察

先進的取組を行っている県外の学校視察や報告会・研修会に参加し、そこで得られた指導法を実践することで、生徒にとって分かりやすく、主体的に参加できるような授業にする。

【独自事業】

・緑風ハートフル事業

様々な体験活動を通して、他者と関わりを持つ機会が少なく人間関係作りを苦手としている生徒のコミュニケーション能力を育成する。

(1) 夏季宿泊体験

山陰ジオパークを巡ったり、氷ノ山登山を行ったりすることで、郷土の自然や文化への理解を深める。また宿泊体験により様々な学年の生徒と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。

(2) 冬季スキー体験

宿泊しながらスキーを体験し、自然の中でスポーツを楽しむとともにコミュニケーション能力の向上を図る。

(3) 校内創作体験活動

ガラスアートや焼き物等の創作活動を行い、達成感・自己肯定感を育てる。

・基礎学力育成のための支援事業

不登校による学習の中断等、生徒は多様な学習歴を持っている。そのため基礎的学力の育成が大きな課題であり、習熟度別クラスや少人数指導に加え、以下のような学力向上に向けた取組を行っている。

(1) 緑風ソシオ

保健体育と英語の授業で大学生等による授業の支援や個別学習を実施している。

(2) ICT活用によるわかりやすい授業の研究

タブレットを活用した効果的な授業の実施に向け、外部講師を招いて授業研究を行う。タブレット活用の授業も増えつつある。